

図書だより

2023年5月2日

高島高校図書館



図書だよりは読み終わったら
保護者の方にも見せてくださいね！

4月26日までの朝の10分間読書では、どの学年も静かに集中して読書に取り組んでいる様子でした。以下、感想を一部紹介します。

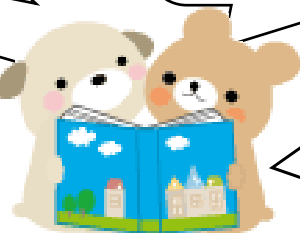
1年生の時の読書週間で読書に興味を持ち、それから色々な本を読むようになって国語の問題を解くスピードが早くなったように感じました。

続きを読みたくて、帰りの電車などスマホを触る時間が減った。著者が他にどんな本を書いているのかを調べて、読みたい本が見つかった。

時間が短いので少しのページしか読めないのが残念ですが、次のページに進みたい！早く読みたい！と思えるようになりました。

毎日してほしいです。本が好きでたくさんもっていても、なかなか読書に時間をさけなかったりするので、読む時間があって本当に良かったです。

クラス全体が静かに本を読んでいたのが、集中しやすかった。



読書してから授業の流れは、眠たさが少なくなって「がんばろう」という気持ちになれた。

他にも、読書のあとの授業でも集中力が上がった、普段本はあまり読まないけれど、自分で選んだ本なら楽しく読めたという感想がとても多かったです！今後も自分のペースで読書の時間を過ごしてほしいと思います。また、5月に何冊本を読んだか6月に調査がありますので、各自記録しておいてください。

ステキな本の感想も

たくさん書いてくれました！

『#真相をお話しします』

結城真一郎

いろんなところが真相につながっていて、「これも、これもっ?！」と、クルクルとひっくり返し、だまされるのが楽しかったです。



他にも、『わたしの幸せな結婚』や『交換ウソ日記』シリーズがとても人気でした。

BOOK

BOOK

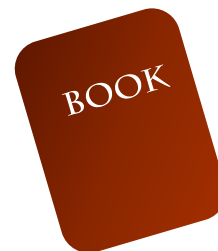
『大正浪漫』 NATSUMI

大正と平成の時空を越えた恋がとても儚くておもしろかったです。文通でやりとりするというのがまた面白かったです。

BOOK

『首都感染』 高嶋哲夫

新型コロナウイルスを思わせる話で、政府側の目線で色々な事が進んでいくので、こんな風に会議しているのかなあと思いました。



『告白』や『母性』など、湊かなえさんの作品も多く読まれていました！

BOOK

『グレッグのダメ日記』 ジェフ・キニー

昔読んでいた時の記憶がよみがえってきて面白かった。原作の英語版と合わせて読むことで、学びにも使えた。



BOOK

『バナナの魅力を 100 文字で伝えてください』

柿内尚文

この本を手にとった時、どういふ本なのか全く想像がつかなかったけれど、今はこのタイトルの効果を説明できます。より上手く伝えることの色々な方法を知れたので、生かしていきたい。

BOOK

『霊視るお土産屋さん』 平田ノブハル

滋賀のお話だったので、共感できておもしろかったです。

『桜のような僕の恋人』 宇山佳佑

最後のシーンで泣くかと思った。

BOOK

表面に続いて

みなさんが読んだ本の感想を紹介します！

BOOK

『世にも奇妙な君物語』 朝井リョウ

全て読むと最後に繋がる伏線があってももしろかった。

『N/A』 年森瑛

“かけがえのない他人”という表現がとても気に入りました。個の大切さを気付かせてくれる本でした。

BOOK

『ようこそ実力至上主義の教室へ』

衣笠彰梧

ハラハラしてドキドキして面白かった！

『探偵はもう、死んでいる』 二語十 ほか

新たな真実が次々と明かされていくところや、普通の会話でのツッコミが面白かった。

BOOK

BOOK

『感情を出した方が好かれる』 加藤諦三

感情は出さない方がうまくいくと思っていたので、とてもびっくりしてタメになった。自分の小さなころを思い出した。

こどもの読書週間 です！

4月23日の「世界本の日・子ども読書の日」から5月12日までの3週間は「こどもの読書週間」です。子どもたちにもっと本を、子どもたちにもっと本を読む場所をとの願いから、こどもの読書週間は1959年に誕生しました。この期間は日本中のさまざまな場所で

読書に関する取り組みが行われています。本校図書館でも関連図書を展示していますので、またぜひ見に来てくださいね。